

男女共同参画  
わこうプラン推進委員だよりわこうプラン推進委員  
大河内 茂美

このたび、“わこうプラン推進委員”として初参画。よろしくお願ひします。あわせて、この“おるご〜る”を介して、かつての子育て家庭の“公園デビュー”よろしく、当地域への恐れ入りながらの初デビュー。

実は、昨秋までは、いわゆる埼玉都民いわば“和光宿泊市民”。当地のコミュニティとの接触の殆どは、カミサン任せ。トウチャン（筆者）は、余暇に、駅前のスーパー、スポーツクラブ、郵便局などの定点を徘徊する程度。唯一、自治会での忘年会に、例年出席。お酒が呑めるからです。おっと、これは冗談。このような会合いわば渉外関係は、トウチャンの役割としてきたからです。

そんな中、家にいる機会が多くなると、カミサンとのこれまでの家での業務の役割分担も微妙にぐらつき始めて来ています。超個人情報ですが、器用さやチカラ(?)はカミサンには敵わない。カミサンいわく、

「ペンより重たい物は持ったことはない人だから」。したがって、大工仕事や家電の修理などは、からっきしダメ。料理や洗濯も苦手。かくして、トウチャンは、クルマの運転、手紙や文書類の整理と処理、たまの掃除、渉外関係などを担当。

子育て時代には、オムツ交換や沐浴・入浴などは怖くて、殆どカミサンに依存。てなことで、専ら“ダメオヤジ”。でも、これまでの“生活設計”に関わる一大事には、トウチャンもしっかりと参画。これにて、我が家の“男女共同参画社会”は、辛うじて及第点と自己評価。今後の課題は、生活の変化に応じた役割分担の見直しです。

中国に、“先ず<sup>かい</sup>隗より始めよ”という故事があります。“男女共同参画社会の実現”に当たって、気負わずに身近なところから手掛けることが大切かと思ひます。

☎ 人権文化課 ☎ 424-9088

このコラムは市民であるプラン推進委員が、男女共同参画わこうプランの基本理念に基づき、男女共同参画を推進するための啓発活動の一環として執筆しています。